

内村 航平 UCHIMURA, Kohei



1989年(昭和64年)1月3日生まれ(26歳)。長崎県出身。身長162cm。体操開始年齢3歳。

現所属:コナミスポーツクラブ(日本体育大学卒)。コーチ:加藤裕之、佐藤寿治、森泉貴博。得意種目「ゆか、平行棒」。

初めての国際大会:2005年国際ジュニア(オープン参加)

ナショナル入り2006年:ナショナルNo.162。

家が体操クラブであり、遊んでいるうちに本格的に体操を始める。2006年高校選抜と全日本ジュニアの2冠を獲得し、その年の全日本では高校生ながらナショナル入り。2007年ユニバーシアード団体優勝とともに種目別ゆかで優勝。その勢いを維持して1年生ながら学生日本一のタイトルを獲得した。2008年、初めてのオリンピックで団体銀メダルに貢献。さらに個人総合決勝ではあん馬において2度落下したがあきらめず、つり輪以降、最後の鉄棒まで真摯な演技を続け、銀メダルを獲得した。翌2009年の世界選手権では日本人選手4人目となる個人総合チャンピオンに輝き、2010年、2011年、2013年、2014年も優勝して世界選手権5連覇の記録更新中(2014年、ギネス記録にも認定)。2012年、世界チャンピオンとして迎えた2度目となるオリンピック(ロンドン)では、予選でミスを重ねて個人9位。しかし、団体決勝ではチーム一丸となって銀メダル獲得に貢献し、さらに、個人総合では念願の金メダルを獲得した。2014年世界選手権ではわずか0.1差で団体優勝を逃したが、2015年は跳馬でリシャOPENを成功させるなど、団体優勝を目指し、さらに進化し続けている。

【国内大会】

- ◆03 全国中学:42位 ◆04 全日本ジュニア2部:出場 ◆04 高校選抜:15位 ◆05 インターハイ:14位
- ◆05 全日本ジュニア:3位 ◆05 全日本:出場 ◆06 高校選抜:1位 ◆06 インターハイ:個人2位
- ◆06 全日本ジュニア:1位 ◆06 全日本:8位 ◆07 世界選手権2次予選:16位 ◆07NHK杯:11位
- ◆07 全日本学生:1位 ◆07 全日本:7位 ◆08 五輪2次選考会:1位 ◆08NHK杯:2位 ◆08 全日本学生:2位
- ◆08 全日本:1位 ◆09 全日本個人:1位 ◆09NHK杯:1位 ◆09 全日本学生:1位
- ◆09 全日本種目別:ゆか1位、つり輪2位、平行棒1位、鉄棒2位 ◆10 全日本個人:1位 ◆10NHK杯:1位
- ◆10 全日本学生:1位 ◆10 全日本種目別:ゆか1位、跳馬1位、平行棒7位、鉄棒1位 ◆11 全日本個人:1位
- ◆11NHK杯:1位 ◆11 社会人:出場 ◆11 全日本種目別:ゆか1位、あん馬1位、鉄棒1位 ◆12 全日本個人:1位
- ◆12NHK杯:1位 ◆12 社会人:1位 ◆13 全日本個人:1位 ◆13NHK杯:1位 ◆13 社会人:1位 ◆13 全日本団体:1位
- ◆14 全日本個人:1位 ◆14NHK杯:1位 ◆14 全日本シニア:1位 ◆15 全日本個人:1位 ◆15NHK杯:1位
- ◆15 全日本シニア:1位

【国際大会】

- ◆05 国際ジュニア:オープン出場 ◆06 環太平洋選手権ジュニア:団体1位、ゆか1位、つり輪4位、平行棒2位
- ◆06 ボローニンカップ:団体1位、個人4位、ゆか3位、つり輪6位、平行棒7位、鉄棒3位 ◆07 フランス国際:跳馬3位
- ◆07 ユニバーシアード:団体1位、ゆか1位、跳馬3位 ◆07 北京国際招待:団体2位、ゆか7位 ◆08 天津国際:ゆか1位
- ◆08 北京オリンピック:団体2位、個人2位、ゆか5位 ◆08 豊田国際:ゆか2位 ◆08 ワールドカップ決勝:ゆか2位
- ◆09 コト布斯国際:ゆか1位 ◆09 JAPAN CUP:団体1位、個人1位 ◆09 世界選手権:個人1位、ゆか4位、鉄棒6位

- ◆09 豊田国際:ゆか1位、あん馬7位、鉄棒2位◆10 フランス国際:つり輪 2 位、鉄棒 1 位
- ◆10JAPAN CUP:団体 1 位、個人 1 位◆10 世界選手権:団体 2 位、個人 1 位、ゆか 2 位、平行棒 3 位
- ◆10 豊田国際:ゆか 1 位、跳馬 6 位、鉄棒 2 位◆11JAPAN CUP:団体 1 位、個人 1 位
- ◆11 世界選手権:団体 2 位、個人 1 位、ゆか 1 位、あん馬 5 位、つり輪 6 位、平行棒 4 位、鉄棒 3 位
- ◆11W杯東京大会:個人 1 位◆11 豊田国際:ゆか 1 位、鉄棒 1 位
- ◆12 ロンドンオリンピック:団体 2 位、個人 1 位、ゆか 2 位
- ◆13 世界選手権:個人 1 位、ゆか 3 位、平行棒 1 位、鉄棒 3 位
- ◆13 豊田国際:ゆか 2 位、つり輪 8 位、平行棒 1 位、鉄棒 1 位◆14W杯東京大会:個人 1 位
- ◆14 世界選手権:団体 2 位、個人 1 位、鉄棒 2 位◆14 豊田国際:鉄棒 1 位

田中 佑典 TANAKA, Yusuke



1989年(平成元年)11月29日生まれ(25歳)。和歌山県出身。身長166cm。
体操開始年齢7歳。

現所属:コナミスポーツクラブ(順天堂大学卒)。得意種目「平行棒、鉄棒」。

コーチ:加藤裕之、佐藤寿治、森泉貴博。趣味:インテリア。

初めての国際大会:2002年UWWカップ

ナショナル入り2006年:ナショナルNo.165。

家族が体操一家であり、兄(和仁)、姉(理恵)が体操を始めていく中で、家で留守番よりは退屈しないと思い体操を始める。ジュニア期から強化指定選手に選ばれ力をつけ、2006年、兄弟の中ではもっとも早くナショナル入りを果たした。2007年のコト布斯国際で、高校2年生ながら鉄棒2位に入り、さらに国際ジュニア(横浜)では個人総合優勝を果たし注目を集める。その冬に右手首を疲労骨折するが、驚異的な回復で2008年春先の試合に出場した。2011年、初めて臨んだ世界選手権では、ゆかのアクシデントによる演技中断や団体決勝での鉄棒での落下など、ほろ苦いデビュー戦となった。大学では1年次と4年次に団体優勝の感動を味わい、チーム戦の魅力に目覚める。史上初となる3兄弟で出場したオリンピックでは団体決勝の鉄棒で会心の演技を披露し、団体銀メダルに貢献した。2014年、全体的な演技に磨きがかかり、世界選手権代表に返り咲き、個人総合で銅メダルを獲得。つり輪におけるホンマ脚上拳十字(タナカ)をはじめとする技の習熟度の表現は秀逸で、まだ得ていない団体金メダル獲得に向けて練習に励む。

【国内大会】

- ◆00 全日本ジュニア Bクラス:5位 ◆01 全日本ジュニア Bクラス:1位 ◆02 全日本ジュニア Aクラス:3位
- ◆02 全国中学:11位 ◆03 全日本ジュニア 2部:17位 ◆03 全国中学:19位 ◆04 全日本ジュニア:出場
- ◆04 全国中学:3位 ◆05 インターハイ:35位 ◆05 全日本ジュニア:10位 ◆05 全日本:出場 ◆06 高校選抜:14位
- ◆06 インターハイ:24位 ◆06 全日本ジュニア:8位 ◆06 全日本:9位 ◆07 世界選手権 2次予選:20位
- ◆07NHK杯:15位 ◆07 インターハイ:3位 ◆07 全日本ジュニア:1位 ◆07 全日本:出場 ◆08 五輪 2次選考会:31位
- ◆08 全日本学生:7位 ◆08 全日本:5位 ◆09 全日本個人:17位 ◆09NHK杯:14位 ◆09 全日本学生:2位
- ◆09 全日本団体:出場 ◆10 全日本学生:出場 ◆10 全日本種目別:つり輪 8位 ◆11 全日本個人:5位
- ◆11NHK杯:6位 ◆11 全日本学生:1位 ◆11 全日本種目別:鉄棒 2位 ◆12 全日本個人:10位 ◆12NHK杯:16位
- ◆12 社会人:2位 ◆12 全日本種目別:鉄棒 1位 ◆13 社会人:7位 ◆13 全日本団体:1位 ◆14 全日本個人:9位
- ◆14NHK杯:4位 ◆14 全日本種目別:平行棒 8位、鉄棒 1位 ◆14 全日本シニア:2位 ◆15 全日本個人:2位
- ◆15NHK杯:2位

【国際大会】

- ◆02UWW カップ:個人 2位 ◆03 アジアジュニア:団体 2位、個人 13位、跳馬 8位、平行棒 8位
- ◆06 国際ジュニアチームカップ:団体 1位 ◆07 オーストラリア招待:団体 1位、個人 7位 ◆07 コト布斯国際:鉄棒 2位
- ◆07 国際ジュニア:個人 1位、ゆか 6位、つり輪 3位、跳馬 1位、鉄棒 3位 ◆10PCC:団体 1位
- ◆11 世界選手権:団体 2位、鉄棒 6位 ◆11 豊田国際:平行棒 1位、鉄棒 2位 ◆12 ロンドンオリンピック:団体 2位
- ◆12 豊田国際:ゆか 2位、つり輪 2位、平行棒 1位、鉄棒 1位
- ◆13 ユニバーシアード:団体 3位、個人 7位、ゆか 4位、平行棒 7位、鉄棒 2位

- ◆13 東アジア:団体 2 位、ゆか 6 位、平行棒 4 位、鉄棒 1 位◆14 世界選手権:団体 2 位、個人 3 位、平行棒 5 位
- ◆14W杯ドイツ大会:個人 5 位◆14W杯イギリス大会:個人 2 位◆14 豊田国際:平行棒 1 位、鉄棒 2 位
- ◆15W杯アメリカ大会:個人 5 位◆15 アジア選手権:団体 1 位、個人 2 位、つり輪 5 位、鉄棒 1 位

加藤 凌平 KATO, Ryohei



1993年(平成5年)9月9日生まれ(22歳)。埼玉県出身。身長163cm。体操開始年齢9歳。

得意種目「ゆか、平行棒」。現所属：順天堂大学(4年生)。コーチ：原田睦巳、富田洋之。

初めての国際大会：2008 リューキンカップ

ナショナル入り年 2011年：ナショナル No.179。

父親がコナミスポーツクラブの指導者で、ナショナルコーチであったことから、幼少期から草加の体育館が遊び場として体操に触れる。自身もいつかは本格的に取り組みたいと思っていた矢先、基本練習を学ぶことで次々に新しい技を覚えることに楽しさを見出し成長する。2011年NHK杯で8位となり一躍トップ選手の仲間入り。しかし、ナショナルとして出場したKOREAN CUP(韓国国際)では思うように他国製の器具に合わせることができず自分の持てる力を出し切れなかったことから、さらに上を目指す練習に取り組む。2012年、ゆかの実力を評価されてオリンピック・ロンドン大会日本代表に。ロンドンではデビュー戦とは思えない落ち着きぶりで安定感のある演技を披露して団体銀メダル獲得に大きく貢献。2012年インカレでは大学1年生ながら団体と個人のタイトルを獲得した。2013年5月、競技会中につり輪のケーブルが切れるアクシデントに見舞われて肩を痛めたが何とか調整し、初出場の世界選手権で内村に次いで銀メダルを獲得した。2014年世界選手権では個人総合の出場を内村航平、田中佑典に譲ったが、決勝に進出した平行棒では銅メダルを獲得し、種目別選手としての成長も見せている。

【国内大会】

- ◆08 全日本ジュニア Aクラス：1位 ◆08 全国中学：7位 ◆09 インターハイ：29位 ◆09 全日本ジュニア：35位
- ◆10 高校選抜：5位 ◆10 ユースオリンピック 1次予選：7位 ◆10 ユースオリンピック代表決定：6位
- ◆10 インターハイ：33位 ◆10 全日本ジュニア：12位 ◆10 全日本種目別：ゆか 3位 ◆11 全日本個人：7位
- ◆11 NHK杯：8位 ◆11 インターハイ：2位 ◆11 全日本ジュニア：2位 ◆11 全日本種目別：出場 ◆12 全日本個人：4位
- ◆12 NHK杯：4位 ◆12 全日本学生：1位 ◆12 全日本団体：1位 ◆12 全日本種目別：ゆか 1位、あん馬 2位
- ◆13 全日本個人：2位 ◆13 NHK杯：2位 ◆13 全日本学生：4位 ◆13 全日本団体：3位 ◆14 全日本個人：3位
- ◆14 NHK杯：3位 ◆14 全日本種目別：ゆか 2位、あん馬 7位 ◆14 全日本学生：1位 ◆15 全日本個人：3位
- ◆15 NHK杯：3位 ◆15 全日本種目別：ゆか 5位 ◆15 全日本学生：出場

【国際大会】

- ◆08 リューキンカップ(14～15歳の部)：個人 1位 ◆10 リューキンカップ：個人 14位
- ◆11 韓国国際：ゆか 6位、跳馬 5位、鉄棒 6位
- ◆11 国際ジュニア：個人 2位、ゆか 1位、跳馬 1位、平行棒 3位、鉄棒 2位 ◆12 ロンドンオリンピック：団体 2位
- ◆12 豊田国際：ゆか 1位、あん馬 1位、鉄棒 4位 ◆13 W杯フランス大会：平行棒 1位 ◆13 W杯東京大会：個人 2位
- ◆13 ユニバーシアード：団体 3位、個人 5位、ゆか 1位、あん馬 5位、平行棒 4位、鉄棒 3位
- ◆13 世界選手権：個人 2位、鉄棒 7位 ◆13 豊田国際：あん馬 2位、平行棒 2位 ◆14 W杯東京大会：個人 3位
- ◆14 世界選手権：団体 2位、ゆか 6位、平行棒 3位 ◆14 豊田国際：ゆか 1位、あん馬 2位、平行棒 2位
- ◆15 W杯アメリカ大会：個人 2位 ◆15 アジア選手権：団体 1位、個人 1位、あん馬 7位、鉄棒 7位

白井 健三 SHIRAI, Kenzo



1996(平成8年)8月24日生まれ(19歳)。神奈川県出身。身長162cm。体操開始年齢3歳。

現所属:日本体育大学(1年生)。得意種目「ゆか、跳馬」。

コーチ:畠田好章。

初めての国際大会:2011年国際ジュニアチームカップ

ナショナル入り2013年:ナショナルNo.189。

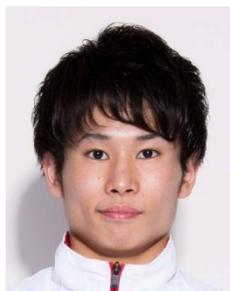
家族が体操一家であり、両親が体操の指導者であることから2人の兄(勝太郎、晃二郎)とともに自然と体操と向き合っていく。2011年、中学3年生として初めて出場した全日本種目別(ゆか)では、後方宙返り3回半ひねりからの宙返り技など、当時の世界トップ選手でもこなしていなかった大技を成功させ、世界チャンピオン内村航平選手に及ばなかったものの、周囲を驚かせた。2011年12月のボローニンカップでは後方宙返り4回ひねりを成功させ、ロシアの会場でどよめきと喝さいを受け、Youtubeを通じて世界的に注目されるようになる。2012年11月、次世代の中国シニア選手が出場するアウェーのアジア選手権に出場。初めて男女の揃う体操ニッポン選手団の一員として戦うチームワークに楽しさを感じる。ジュニアの全国大会においてゆかでは、2008年から優勝を重ね、2013年6月、念願の種目別タイトルを獲得。さらに世界選手権代表選考基準として設定された得点15.900をマークし、日本体操男子史上、最年少の代表選手となった。初めての世界選手権では、前方伸身宙返り3回ひねりと後方伸身宙返り4回ひねりの世界で初めて演じられた技を含め、見事に演技をまとめ、予選、決勝ともにトップの得点で金メダルを獲得した。後日、それらの技は「シライ」と命名されることになった。2014年世界選手権では初めて団体戦を経験したが、0.1の差で中国に敗れ悔しさをかみしめる。その後、得意のゆかではリジョンソン(G難度)を構成するなど、得意種目に磨きをかけるだけでなく、全種目の強化にも余念がない。

【国内大会】

- ◆07 全日本ジュニア B クラス:7 位 ◆08 全日本ジュニア B クラス:3 位 ◆09 全日本ジュニア A クラス:32 位
- ◆10 全日本ジュニア 2 部:15 位 ◆10 全国中学:5 位 ◆11 全日本ジュニア 2 部:2 位 ◆11 全国中学:3 位
- ◆11 全日本種目別:ゆか 2 位 ◆12 インターハイ:36 位 ◆12 全日本ジュニア:10 位 ◆12 全日本種目別:ゆか 5 位
- ◆13 高校選抜:10 位 ◆13 全日本個人:予選 53 位 ◆13 全日本種目別:ゆか 1 位 ◆13 インターハイ:3 位
- ◆13 全日本ジュニア:3 位 ◆14 高校選抜:3 位 ◆14 全日本:16 位 ◆14NHK杯:15 位 ◆14 全日本種目別:ゆか 1 位
- ◆14 インターハイ:2 位 ◆14 全日本ジュニア:1 位 ◆15 全日本個人:11 位 ◆15NHK杯:11 位
- ◆15 全日本種目別:ゆか 1 位、跳馬 5 位 ◆15 全日本学生:個人 3 位

【国際大会】

- ◆11 国際ジュニアチームカップ:団体 4 位、<15-16 歳>個人 6 位 ◆11 ボローニンカップ:ジュニア個人 4 位、ゆか 1 位、跳馬 1 位 ◆12 ロシアジュニア国際:団体 9 位、個人 1 位、ゆか 1 位、つり輪 7 位、跳馬 1 位、平行棒 2 位、鉄棒 1 位
- ◆12 アジア選手権:団体 2 位、ゆか 1 位、跳馬 6 位 ◆13 世界選手権:ゆか 1 位、跳馬 4 位
- ◆13 豊田国際:ゆか 1 位、跳馬 10 位 ◆14 カタール国際:ゆか 1 位、跳馬 3 位 ◆14 世界選手権:団体 2 位、ゆか 2 位、跳馬 4 位 ◆14 メモリアルガンダー:出場 ◆14 スイスカップ:チーム 5 位 ◆14 豊田国際:ゆか 4 位、跳馬 2 位
- ◆15 コトブス国際:ゆか 1 位、跳馬 1 位、平行棒 6 位 ◆15 アジア選手権:団体 1 位、ゆか 1 位、跳馬 2 位

萱 和磨 KAYA, Kazuma

1996(平成8年)11月19日生まれ(18歳)。千葉県出身。身長161cm。体操開始年齢8歳。

現所属:順天堂大学(1年生)。得意種目「あん馬」。

コーチ:原田睦巳、富田洋之。

初めての国際大会:2013年国際ジュニア

ナショナル入り2015年:ナショナルNo.196。

小学2年生の夏、偶然見たアテネオリンピック団体優勝の瞬間に感銘を受け、親に懇願して近所の体操クラブで体操を始める。2007年には全国ブロック選抜U12選手権大会で初めての全国大会に出場するが、頂点を見る余裕はまったくなかった。中学1年の時、鉄棒の終末技で右ひじを脱臼し、試合から一時遠ざかるが、その時期に基礎力をしっかり積み上げて迎えた中学3年での全日本ジュニア選手権2部で個人総合4位となり、同年代トップの千葉健太選手、白井健三選手らの背中が見え、目標が明確になった。そして、2013年全日本ジュニア1部で同世代トップに立つと、その後も互いに刺激しあいながら成長する。2013年9月の国際デビューとなる国際ジュニアで優勝。その勢いで世界を意識づける登竜門ボローニンカップヘシニアでの出場エントリーをしたが、現地にてシニアの部での出場を断られ、ジュニアの部で出場して優勝した。2014年は高校選抜と全日本ジュニアで優勝したが、全日本種目別では得意のあん馬で失敗し予選落ち。不満の多い結果を反省し、練習を積んで臨んだ全日本選手権で個人総合6位に躍進。そして全日本種目別のあん馬で世界チャンピオンの亀山耕平選手の得点を上回り、うれしい初代表の切符を手に入れた。

【国内大会】

- ◆07 全国ブロックU12:47位 ◆08 全日本ジュニアBクラス:31位 ◆11 全日本ジュニア2部:4位 ◆11 全国中学:7位
- ◆12 インターハイ:15位 ◆12 全日本ジュニア:26位 ◆13 高校選抜:3位 ◆13 全日本個人:31位
- ◆13NHK杯:個人30位 ◆13 インターハイ:3位 ◆13 全日本ジュニア:2位 ◆14 高校選抜:1位 ◆14 全日本:27位
- ◆14NHK杯:36位 ◆14 全日本種目別:平行棒3位 ◆14 インターハイ:3位 ◆14 全日本ジュニア:1位
- ◆15 全日本個人:6位 ◆15NHK杯:8位 ◆15 全日本種目別:あん馬1位 ◆15 全日本学生:個人2位

【国際大会】

- ◆13 国際ジュニア:個人1位、ゆか3位、あん馬1位、つり輪5位、跳馬5位、平行棒2位、鉄棒1位
- ◆13 ボローニンカップ:団体2位、ジュニア個人1位、あん馬1位、つり輪2位、平行棒4位、鉄棒1位
- ◆14 ボローニンカップ:団体1位、個人1位、ゆか5位、あん馬6位、つり輪5位、平行棒1位、鉄棒1位
- ◆15 アジア選手権:団体1位、あん馬1位、平行棒3位

長谷川智将 HASEGAWA, Tomomasa

1993年(平成5年)5月30日生まれ(22歳)。福岡県出身。身長167cm。体操開始年齢6歳。

得意種目「あん馬」。日本体育大学4年生。コーチ:畠田好章。

初めての国際大会:2008年国際ジュニアチームカップ

ナショナル入り年2014年:ナショナルNo.194。

幼稚園に教えに来ていた体操の先生の勧めで体操を始める。父が柔道をしてきたことから、柔道も習っていたが、小学3年生の時に住んでいた石川県の大会で2位となり、体操に専念することを決める。中学1年生の時にジュニア強化選手に選ばれ、中学2年生で国際大会出場の間際を得る。しかし現地で腰痛を悪化させ試合を棄権し、選手のサポート役として団体優勝を支えた。中学3年では全日本ジュニア2部で3位、全国中学の頂点に立ったが、腰を痛め、治療を優先する時期を過ごす。2013年全日本種目別のあん馬で初めて全日本のタイトルを獲得し、大きな手ごたえを感じるが、その年のインカレでは不甲斐ない演技を繰り返し、自分の実力のほどを知る。その後、世界選手権アントワープ大会において亀山耕平選手があん馬で金メダルを獲得したことで刺激を受け、種目の貢献度で2014年アジア大会代表の座を手にする。2015年代表選考ではオールラウンダーとしての成長も見せ、代表入りに近づいたが、代表を決める最終戦である全日本種目別、予選のあん馬で落下。代表入りをあきらめかけたその時、周囲からあきらめない気持ちを悟らされ、鉄棒で見事な演技を披露して初の世界選手権代表に名乗りを上げた。

【国内大会】

- ◆04 全日本ジュニア Bクラス:9位 ◆05 全日本ジュニア Bクラス:1位 ◆06 全日本ジュニア Aクラス:3位
- ◆06 全国中学:11位 ◆07 全日本ジュニア 2部:13位 ◆07 全国中学:6位 ◆08 全日本ジュニア 2部:3位
- ◆08 全国中学:1位 ◆09 全日本ジュニア:62位 ◆10 高校選抜:21位 ◆10 ユース五輪最終:11位
- ◆10 インターハイ:9位 ◆10 全日本ジュニア:9位 ◆11 インターハイ:8位 ◆11 全日本ジュニア:4位
- ◆12 全日本個人:20位 ◆12 全日本学生:14位 ◆13 全日本個人:27位 ◆13NHK杯:個人23位
- ◆13 全日本種目別:あん馬1位 ◆14 全日本個人:15位 ◆14NHK杯:個人12位
- ◆14 全日本種目別:あん馬2位、鉄棒8位 ◆14 全日本学生:2位 ◆15 全日本個人:9位 ◆15NHK杯:7位
- ◆15 全日本種目別:鉄棒2位

【国際大会】

- ◆08 国際ジュニアチームカップ:団体1位 ◆11 国際ジュニア:あん馬3位、つり輪3位
- ◆11 ボローニンカップ:団体2位、個人3位、ゆか5位、あん馬8位、つり輪4位、鉄棒6位
- ◆14 アジア大会:団体1位、あん馬5位 ◆15 コトブス国際:あん馬6位

早坂 尚人 HAYASAKA, Naoto



1995年(平成7年)12月4日生まれ(19歳)。埼玉県出身。身長165cm。体操開始年齢9歳。

得意種目「ゆか」。順天堂大学(2年生)。コーチ:原田睦巳、富田洋之。

初めての国際大会:2012年リューキンカップ

ナショナル入り年2015年:ナショナルNo.195。

体操をしていた母の勧めで体操を始める。空手にも取り組んでいたが、選手コースへ進んでから体操一本へ絞る。15歳の時に鉄棒にプロテクターがひっかかり腕を骨折したが、地道にリハビリとトレーニングを積み重ね、2012年に全日本選手権出場を果たす。その年に全日本ジュニアで3位に入り、初の国際試合となるリューキンカップにおいて最高のパフォーマンスを披露して個人総合優勝。持ち前のスピードと力強さに自信が加わり、2013年全日本では個人総合8位となり、高校生ながら国内トップの仲間入りを果たす。2015年はNHK杯個人総合4位となり、ナショナル入りを果たし、ユニバーシアードで団体優勝。アジア選手権では内村航平選手に代わって出場し、団体優勝に大きく貢献した。

【国内大会】

- ◆07 全日本ジュニアBクラス:22位 ◆08 全日本ジュニアAクラス:19位 ◆09 全日本ジュニア2部:出場
- ◆10 全日本ジュニア:出場 ◆11 全日本ジュニア:出場 ◆12 高校選抜:12位 ◆12 全日本個人:出場
- ◆12 インターハイ:3位 ◆12 全日本ジュニア:3位 ◆12 全日本団体:8位 ◆12 全日本種目別:ゆか8位
- ◆13 高校選抜:4位 ◆13 全日本個人:8位 ◆13NHK杯:19位 ◆13 インターハイ:1位 ◆13 全日本ジュニア:1位
- ◆13 全日本団体:7位 ◆14 全日本個人:39位 ◆14 全日本種目別:ゆか6位 ◆14 全日本学生:13位
- ◆14 全日本団体:2位 ◆15 全日本個人:4位 ◆15NHK杯:4位 ◆15 全日本種目別:ゆか3位 ◆15 全日本学生:4位

【国際大会】

- ◆12 リューキンカップ:個人1位
- ◆13 ボローニンカップ:団体2位、個人3位、ゆか1位、あん馬4位、平行棒4位、鉄棒5位
- ◆14 コロンビア国際:ゆか5位、鉄棒4位 ◆15 スタンフォード対抗:団体1位
- ◆15 ユニバーシアード:団体1位、個人4位、ゆか1位、あん馬2位 ◆15 アジア選手権:団体1位、ゆか2位